

# 株式会社 樋原製作所

## 高品質産業装置部品の製造 ノウハウで福祉機器を製品化

納期相談  
企画力自信有  
コスト相談  
オンリーワン技術  
メイドインジャパン  
試作可  
小ロット



社内の3S活動

### 主な事業内容

アルミ・チタン・ステンレスなどの  
精密切削など金属加工

### 主な取引先(納入先)

包装機、製氷機、半導体製造装置メーカー、  
病院、介護施設、介護タクシーなど

### 主な製品

医療・介護用福祉機器、包装機部品、  
製氷機エバポレーター(氷をつくる器)

### 業務内容 先端産業に関わり ノウハウを蓄積

樋原製作所は、食品包装機部品や製氷機部品などの金属加工を手がける。創業は昭和35年。ディーゼルエンジン部品からスタートし、高度経済成長の波に乗って事業を拡大した。48年のオイルショックでダメージを被ったが、これを契機に販路の多角化を模索。液晶・半導体製造装置部品、多関節ロボット部品などの加工で新規顧客を獲得し、同時に加工ノウハウを蓄積した。

平成22年からは、培ってきた技術を生かして医療・福祉分野向けの自社製品開発にも着手。新たな市場で着実に成果を積み上げる。樋原明徳社長は「声がかかることも多くなってきた」と自信を見せる。

### 強み VE提案で顧客製品の品質 向上、コストダウンに貢献

治工具から設計・製作することで、他社が難色を示すような複雑形状、薄肉加工を可能にしている。クリーンルームで用いられるロボット部品など高精度・高品質が求められる市場でのものづくり経験から、製品品質、コストの改善を顧客にもたらす「VE(価値工学)提案」

も得意だ。20年のリーマン・ショックで経営危機に陥り、事業規模の縮小を余儀なくされたが、少数精鋭の多能工が技術を守っている。

従来、日産1〜2個だった製氷機部品を日産6〜8個に引き上げ、安定受注につながったのも治工具の自作ノウハウが役立った。また、自動化により、夜間の生産も可能にした。

### 社会貢献 自社開発の福祉機器で 社会貢献

本業で培った技術で社会貢献を果たそうというのが医療・福祉分野進出の狙いだ。医療従事者の労働環境の改善と、地域密着の医工連携モデル構築をめざしている。24年に発売した車椅子固定型の点滴スタンド「スマートボール」を皮切りに、現在はバリエーションを含む9製品を展開する。

樋原社長は「看護師のニーズは共通点が多い」と語る。現場の声を聞き、「ありそうでなかったモノ」を製品化していると言う。事業として売上の拡大は課題だが、販路が介護・福祉機器商社や介護タクシー業界に広がっており、見通しは明るい。今後は生産力の確保にも力を入れる。

### 社長あいさつ



代表取締役社長  
樋原 明徳さん

経営理念の「謝恩報徳」を実践するため、蓄積した技術を医療・福祉機器の分野に生かしています。テクノエイド協会の福祉用具情報システム(TAIS)に3品目4種を登録し、さらに病院への寄贈も行っています。2025年大阪・関西万博に向けてさらに発展させていきます。

### 主な保有設備

- マシニングセンタ  
(1,000mm×515mm×520mm 1万rpm)  
オークマ製 1台
- マシニングセンタ  
(900mm×500mm×500mm 2P 2万rpm)  
牧野フライス製作所製 1台
- 横型マシニングセンタ  
(630mm×600mm×650mm 2P 1万2,000rpm)  
DMG森精機製 1台
- NC複合旋盤(φ390mm×1,035mm 4,000rpm)  
DMG森精機製 2台
- 3次元測定機  
(1,005mm×705mm×510mm)  
ミツトヨ製 2台

大阪  
03

住 所／〒590-0153  
堺市南区  
大庭寺611-3  
TEL／072-293-1111  
FAX／072-293-1112  
創 業／昭和35年8月1日  
設 立／昭和37年2月21日  
資本金／1,000万円  
従業員／7名



自社開発製品の車椅子用ヘッドレスト



自社開発した「スマートボールⅠ型」と「スマートキャッチャーⅢ-2型」



<https://www.hbrind.co.jp/>